



アオバト



北海道小樽高等支援学校寄宿舎便り

第1号

令和6年5月10日



「大好きな自分に出会えるために」

校長 濱 裕 晃

新学期がスタートし、1ヶ月あまりが過ぎました。さて、生徒の皆さんは「今ここで生活し学んでいる自分が好きですか?」「ここにいることで好きな自分になれるそうですか?」と聞かれたら、どのように答えますか。

大好きな自分でいられるために必要な「人」や「場所」や「物事」などを、より多く見つけられることが、幸せな人生にもつながることなのだと思います。「好きな自分」とは、笑顔でいられることだけとは限りません。苦しいけど頑張っている自分、誰かのために力になろうと努力している自分、ちょっと悔しかったけど人の話を素直に聞いた自分、こんな自分も嫌いじゃないなと思えることも「好きな自分」に出会えるための大事な要素のひとつです。

「自分が好き」と思えるときには、自分の「よい部分」が発揮できている実感と周りの人に認められている実感の双方が伴っているときなのだと思います。自分のよい部分を発揮していても、あなたにとって目の前の大切な人たちが認めてくれないことには、自分を好きになることはできないかもしれません。また、あなたにとって大切な人たちが自分を認めてくれることで、「自分が好き」と思えることもあるのではないのでしょうか。

寄宿舎生活が、皆さん一人一人にとって「好きな自分」をより多く見つけられるような未来につながることを目指して、私たち教職員は支えていきたいと思っています。また、生徒の皆さんも友達同士の中で、お互いが「大切な人」となれることを願っています。

保護者の皆様、今後も寄宿舎教育の推進に当たり、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

「アオバト寮がスタートしました！」 男女棟より

男女棟のキャッチフレーズは「今と未来をつなぐ」とし、今年度のスタートにあたり生徒たちに次のことを伝えました。寄宿舍で身に付けていくことは、将来の社会生活を支える大切な力です。まずは自分で立つ努力をしてください。一人で立てなくなったときに支えてもらうためには、コミュニケーションの力が必要です。仲間と協力することで自ずとその力が付いてきます。「今」の積み上げが自分の「未来」を支えます。

思春期、青年期の感情や思いの変化に正しく寄り添い、生徒の良さに目を向けた生活指導をしていきます。今年度もよろしくお願いいたします。



「歓迎会を行いました」



4月18日（木）に歓迎会を行いました。舎友会の各係を中心に、感染症対策に取り組みながら、事前準備、当日の配膳や司会進行などを頑張っていました。自己紹介の代わりに、新入舎生が自分で書いたプロフィールを掲示しています。みんなで掲示を見ながら、新しい仲間を暖かく迎えていました。新入舎生も緊張しながら先輩や友達との会話と食事を楽しんでいました。



「新入舎生、寄宿舍の感想」

新たに寄宿舍の仲間になった皆さんに、舎友会広報係の先輩たちから、寄宿舍の感想を聞きました。

Q1 「寄宿舍に入って良かったことは何ですか？」

- ・ 食事がおいしい。（御飯がある）
- ・ 友達がいっぱいできた。（毎日、友達と話せる）（友達と一緒にゲームができる）（自由時間に楽しく過ごしている）
- ・ 先輩がおもしろい。先輩と話す。先輩や同級生との交流が楽しい。先輩が優しい。
- ・ 漫画があっておもしろい。（テレビを一緒に見る）
- ・ 自律神経が整った。
- ・ 自分で出来ることが増えた。（洗濯、掃除）
- ・ 集団行動ができるようになった。（集団生活をする事ができる）
- ・ 先生の話が聞ける。
- ・ 寄宿舍でいろんなことを知れた。



- 中学よりも楽しい。登校が楽しい。

Q2 「寄宿舍に入って大変なことは何ですか？」

- ルール。配膳。廊下を走るのが駄目。
- 友人関係
- 掃除や洗濯を全部、自分でやらないといけない。
(服が多い時にたくさん干すのが大変だった)
- 自分が持ってきたハンガーが足りない。
- 3階の一番奥の部屋なので遠い。
- 日課の時間に間に合わない。
- 日課に沿って生活すること。



Q3 「寄宿舍で頑張りたいことは何ですか？」

- 洗濯、時間を意識した行動。ルールを守って生活すること。
- 友人関係。仲間と協力したい。
- 掃除。整理整頓。時計を見て過ごす。
- 先輩になったら教えることができるように寄宿舍を知る。
- 場面に応じた言葉遣い。働く力。
- コミュニケーションが取れるようになりたい。
- 一人暮らしができるように、色々なことができるようになりたい。
- 集団生活に慣れる。



「今年度、赴任した寄宿舍の先生を紹介します」



中村 倫子（なかむら みちこ）先生

白樺高等養護学校から来ました中村 倫子（なかむら みちこ）です。生徒のみなさんとたくさん話をしたり、一緒に考えたりしながら、みなさんのサポートができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



渡邊 いく子（わたなべ いくこ）先生

4月より小樽高等支援学校で勤務することになりました渡邊いく子と申します。前任校は小人数の寄宿舍でしたので、今は人数の多さに圧倒されながらの毎日です。生徒の皆さんが一日一日を健康で楽しく過ごせるようにお手伝いできたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



早坂 祐介（はやさか ゆうすけ）先生

4月に転任してまいりました早坂祐介です。アオバト寮の雰囲気にも早く慣れて、舎生の皆さんと一緒に活気あふれる寄宿舍生活にできるように努力していきたくと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



大場 裕元（おおば ひろもと）先生

今年度の4月から小樽高等支援学校で、働かせていただくことになりました。卒業後に、「寄宿舍生活を頑張った良かった。」と思ってもらえるように仕事に励みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「今年度、新しく舎監になられた先生を紹介します」



之 中野 敏之 （なかの としゆき）先生

今年度舎監として、皆さんと関わることになりました中野敏之（なかのとしゆき）です。

寄宿舍生活で共に生活する仲間と明るく健康的な生活が送れるよう、支援をしますので
よろしくお願いします。

「単独帰省帰舎について」



- ・単独帰舎の寄宿舍到着時間は17：00です。帰舎方法が変更になる場合や到着が遅れる場合は寄宿舍への連絡をお願いいたします。
- ・出発前には交通機関の運行状況の確認をお願いいたします。
- ・悪天候による遅延や運休に備えて、複数の経路、方法で帰省できるようにしてください。
- ・水分補給用の水、お茶、スポーツドリンクの購入は事前に済ませておくよう指導しています。
- ・詳細は今年度配布した「単独帰省帰舎について」をご覧ください。

「買い物について」



- ・5月7日から、近隣のラルズとセブンイレブンへの買い物が始まります。
1週間500円、月2,000円の予算で買い物に行きます。
- ・御家庭等からのおやつ持参はできません。

「食事への異物混入について」



- ・食事に、髪の毛やまつげ、衣類の繊維などの混入物につきましては、御家庭への連絡は控えますので、御理解と御協力をお願いします。

「健康面についてのお願い」



- ・風邪のときなど短期的に服用する薬については、通院し医師から処方された薬を御持参ください。併せまして長期薬と同様に、短期薬につきましても薬ファイルの作成をお願いします。詳しくは「入舎のしおり」御参照ください。
- ・市販薬につきましては基本的にお預かりできませんので、御理解と御協力をお願いします。
- ・湿布、絆創膏、サージカルテープ、ワセリンなどを日常的に使用する場合は、個人で用意されるようお願いいたします。
- ・食事の配膳をするときにマスクを着用しますので、マスクの御用意をお願いします。
- ・血液の付着したものやマスクなどの感染物の処理をするため、ポリ袋の御用意をお願い致します。

「グラウンド活動について」



- ・6月から毎週木曜日にグラウンド活動が始まります。本校グラウンドは“ぶよ”蚊が多く発生しますので、各自虫よけスプレーの用意をお願いいたします。また、熱中症対策のため、必要な生徒については帽子の準備もお願いいたします。